

大谷學報

第二十三卷 第四號

昭和十七年七月三十日發行

釋尊と大乘教

泉芳璟 (一)

無始時來の界について

佐々木教悟 (二七)

後周世宗の廢佛考

畑中淨圓 (三)

親鸞聖人の否定道

廣瀬明 (六)

新刊紹介 研究室彙報

大谷學會々則

大谷大學

大谷學會

佛敎研究大谷學報特輯號

(一) 上宮御制疏研究號

佛敎研究
第二卷第二號

(一) 三經義疏研究序說：(佐々木月樵)、(二) 勝曼經義疏を讀みて：金子大榮、(三) 唯摩經義疏の研究：(中島覺了)、(四) 法華義疏を讀みて：(稻葉圓成)、(五) 上宮御製疏と淨名玄論略述：(橋川正)、(六) 上宮御製疏の書史學的概説：(日下無倫)、(七) 阿波國本願寺に藏する太子傳曆：(橋川正)

(二) 親鸞聖人著述研究號

佛敎研究
第四卷第三、四號

(一) 親鸞聖人著述總論：(橋川正)、(二) 敎行信證著作の意志及びその年代に就て：(中澤見明)、(三) 敎行信證古寫本の種類及びその最古の註疏：(日下無倫)、(四) 本願三心の考察：(金子大榮)、(五) 淨土文類聚鈔に就て：(大須賀秀道)、(六) 淨三經往生文類と往還廻向文類：(加藤智學)、(七) 三經往生文類に就て：(鷲尾敎道)、(八) 尊號眞像銘文と光明本尊：(橋川正)、(九) 一念多念文意の研究：(山上正尊)、(十) 入出二門偈頌の研究：(廣瀬南雄)、(十一) 親鸞聖人御眞蹟唯心抄に就て：(井上右近)、(十二) 親鸞聖人の國語に就て：(井上右近)

(三) 大谷派學事史の研究號

大谷學報
第九卷第三號

(一) 序：(稻葉昌丸)、(二) 光遠院惠空講師：(橋川正)、(三) 初期宗學界に於ける西方寺空慧の研究：(日下無倫)、(四) 香月院を中心として：(廣瀬南雄)、(五) 圓乘院宣明講師の遺風：(上杉文秀)、(六) 香樹院に就いて：(大須賀秀道)、(七) 明治初期に於ける大谷派の學事史：(水谷樹)、(八) 大谷派學事史資料解説：(可西大秀)

(四) 中世の研究號

大谷學報
第十卷第四號

(一) 心敎僧都の藝術境：(能勢朝次)、(二) 怨親平等の思想：(橋川正)、(三) 鎮西島津莊、その成立増大・住人・並に傳領：(德重淺吉)、(四) 元の征東行省に就きて：(鷲淵一)、(五) カール大帝時代とその特徴：(菅原憲)、(六) 原始眞宗に於ける荒木門徒の研究：(日下無倫)、(七) 末法思想を理とせる鎌倉時代の展開：(藤島達郎)、(八) 東坡居士の事ども：(本多成之)

(五) 西藏佛敎研究號

大谷學報
第十一卷第三號

西藏佛敎の由來と價值：(松本文三郎)、喇嘛敎敎理概説：(寺本婉雅)、殿版蒙文大藏經考：(石橋純太郎)、藏傳攝大乘論より見たる二、三の問題：(西尾京雄)、敦煌本瑜伽論分門記について：(諏訪義襄)、西藏譯大寶積經の研究：(櫻部文鏡)、安慧造中邊分別論註釋梵文寫本の數葉に就て：(山口益)

(六) 宗教に關する考察號

大谷學報
第十二卷第三號

(一) 「楞伽師資記」とその内容概観：(鈴木大拙)、(二) 認識に於ける「事」：(鈴木弘)、(三) スピノーザの神と世界―そのライプニッツへの發展：(立花勝)、(四) 生に於ける個別と一般：(西谷啓治)、(五) 宗教的神祕主義の基本的概念：(横川顯正)、(六) 新因明論記に就て：(大友芳雄)、(七) デュルケーム・宗教社會學の構想：(福井元澄)

大谷學會々則

- 第一條 本會ハ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク
- 第二條 本會ハ大谷大學樹立ノ粹神ニ基キ佛教學、哲學、史學及ヒ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ目的トス
- 第三條 本會ノ會員ハ(甲)大谷大學ノ專任教職員、研究科並ニ學部學生(乙)大谷大學ノ囑託教職員豫科專門學部生々徒ヲ以テ組織スリノ他本會ノ趣旨ニ賛同シ所定ノ會費ヲ納ムル者ハ(甲)又ハ(乙)會員ニ準ス
- (乙)會員ハ希望ニヨリテ(甲)會員タルコトヲ得
- 第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、年六回、雜誌「大谷學報」ヲ刊行シ全員ニ頒ツ
- 二、年一回「大谷大學研究年報」ヲ刊行シ(甲)會員ニ頒ツ
- 三、毎年秋季ニ大會ヲ開ク
- 四、隨時圖書ノ出版ヲナス
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、會長 大谷大學々長ヲ推ス
- 二、理事 大谷大學々監ヲ以テ任ス
- 三、委員 若干名會長ノ指名トシ任期ヲ二ケ年トス
- 第六條 役員ノ職責左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ代表シ委員會ヲ總理ス

二、理事ハ會長ヲ補佐ス

三、委員ハ本會ノ諸事業ヲ企劃シ實行ス

第七條 會費トシテ甲會員ハ年額金五圓、乙會員ハ年額金參圓ヲ納ムルモノトス

第八條 本會則ハ委員會ノ決議ニサレハ變更スルヲ得ス

附則 一、本會ハ佛教研究會ヲ繼承ス

二、各研究室關係ノ學會ハ本會ニ屬スルモノトス

三、本會則ハ昭和十七年一日ヨリ實施ス 以上

大谷學會役員

會長	關根 仁應
理事	山邊 習學
委員	稻葉 秀賢
	禰 詒住
	諏訪 義讓
	外村 完二
	藤島 達明
	山田 亮賢 (會計) 吉田嘉一郎
	英 秀雲
	大友 芳雄
	金子 大榮
	坂本 弘
	鈴木 弘
	龍山 章眞 (主任) 多屋 頼俊
	中田勇次郎 (補助) 荷葉 堅正
	河野 雲集
	山口 益

前 號 要 目

第二十三卷
第三號

教の眞實性について

大須賀秀道

巴利毘曇禪定について
に於ける

佐々木現順

十七條憲法に於ける佛教思想

富貴原章信

傳教の四宗相承と其の統一

松見得忍

「和」の現成

岩見護

次 號 要 目

第二十三卷
第五號

眞宗學の本義

金子大榮

眞宗精神の構造

禿諦住

ラトナーブリー(Ratnavali)の内容概観

和田秀夫

集邦文類と宋詩紀事

春日禮智

山東省に於ける六朝の佛教摩崖

道端良秀

昭和十七年七月廿五日印刷
昭和十七年七月三十日發行
第三卷 第四號

㊦定價金五拾錢 (郵稅六錢)

編輯兼
發行者 大谷學會

右代表者 稻葉秀賢

印刷者 代表者 須磨勘兵衛
(西京七)内外出版印刷株式會社

京都市西洞院通七條南

發行所 京都市烏丸頭 大谷學會
大谷大學内

振替大阪六七一八五番

京都市神田區淡路町二ノ九

配給元 日本出版配給株式會社

大谷學會會費

甲會員 年額前納 金五圓

「大谷學報」と「大谷大學研究年報」
とを頒布)

乙會員 年額前納 金參圓

「大谷學報」のみ頒布)